

学びの教室 授業指導案

対象年齢：小3～中学生

5 月 1 週目

作成者：中山 実緒

テーマ	●他者を知る。仲間にかかわる。協力する。
めあて	●すごろく作りをする中で、仲間のことを知る。

時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
5分	はじまりのあいさつ		①「はじまりの挨拶」は、これからソーシャルスキルの勉強が始まることを意識させる。 ②新しい友だちが入った場合は、自己紹介しよう。	①はじまりの挨拶をする。 ②新しい友だちの自己紹介を聞く。
10分	目標設定	チャレンジシート	授業評価表の記入の仕方について説明し、今月の目標を2つ、考えさせる。 目標設定が難しい生徒は、担任が支援して目標を立てさせる。 * 難しい目標にならないよう、達成可能な目標を設定することを意識する	評価表に名前・目標を記入する。それぞれが自分の目標を決める。
10分	宿題のフィードバック	プリント 「何でもクエスト」	①宿題の確認をする。 (机に出していない生徒には出すように促す。) ②前回休んだ生徒がいれば、できるだけ授業前に渡しておく。副担は配慮して横につく。 ③宿題で書いてきたことを発表してもらう。	①宿題を出す。 ②宿題の内容を発表する。 ③友達の発表内容を聞く。
25分	すごろくシート「指令カード」の作成	プリント 「指令カード」 「すごろくシート」(掲示用A3で印刷)	①「すごろくシート」を見せ、3週目にすごろくをすることを伝える。 ②すごろく内の「指令カード」の作成をする。(プリント「指令カード」を配布) ③クラス内で「指令カード」の内容を考える。それぞれに発表してもらう。 ※副担は出た案を前に書いていく。 ※主担は特定の生徒のみが発表する形にならないように、巡回しながら発表していない生徒も発言してもらうように促す。 ※先にそれぞれが考えて記入する時間を取っても可。但し、各自の作業にならないように、できるだけクラスで考えるように配慮する。	①すごろくの「指令カード」の内容を考える。
10分	宿題確認・チャレンジシート記入	宿題「指令カード」	①宿題を出すことを提示する。今回は授業で書ききれなかったところを書いてきてもらう。 ②宿題シートに宿題を書いてもらう。 ③宿題の内容を再度確認する。 ④チャレンジシートを行う。主担と副担に分かれてチェックする。 ⑤全員が帰りの用意を完全にしてから、終わりのあいさつをする。	①宿題の説明を聞く。 ②宿題シートに宿題を書く。 ③チャレンジシートの評価を受ける。 ④自分の荷物をまとめる。 ⑤終わりのあいさつをする。

宿題 ●プリント「指令カード」

※指導の際に学びの8カ条を常に心がけてください。

学びの教室 授業指導案

5 月 2 週目

対象年齢： 小3～中学生

作成者： 中山 実緒

テーマ	●他者を知る。仲間にかかわる。協力する。
めあて	●すごろく作りをする中で、相互のやりとりを行う。

時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
5分	はじまりのあいさつ		①「始まりの挨拶」は、これからソーシャルスキルの勉強が始まることを意識させる。 ②新しい友だちが入った場合は、自己紹介し合う。 (。)	①始まりの挨拶をする。 ②新しい友だちの自己紹介を聞く。
10分	宿題のフィードバック	プリント 「指令カード」	①宿題の確認をする。 (机に出していない生徒には出すように促す。) ②前回休んだ生徒がいれば、できるだけ授業前に渡しておく。副担は配慮して横につく。 ③宿題で書いてきたことを発表してもらう。 ※副担は発表内容を前に書いていく	①宿題を出す。 ②宿題の内容を発表する。 ③友達の発表内容を聞く。
25分	すごろくシート「ラッキーカード」の作成	プリント 「ラッキーカード」	①「すごろくシート」を見せ、3週目にすごろくをすることを伝える。(再度) ②すごろく内の「指令カード」の作成をする。(プリント「ラッキーカード」を配布) ③クラス内で「ラッキーカード」の内容を考える。それぞれに発表してもらう。 ※副担は出た案の前に書いていく。 ※主担は特定の生徒のみが発表する形にならないように、巡回しながら発表していない生徒も発言してもらうように促す。 ※先にそれぞれが考えて記入する時間を取っても可。但し、各自の作業にならないように、できるだけクラスで考えるように配慮する。	①すごろくの「ラッキーカード」の内容を考える。
15分	サイコロ、コマ作り	プリント 「サイコロ、コマを作ろう」 色ペン、色鉛筆、はさみ、のり	①プリントを配布する。 ②完成した見本(サイコロ、コマ両方とも)を見せる。 ③色ペン、色鉛筆、はさみ、のりを用意しておく。(貸し借りできるように数は少なめに置いておく) 事前に数が少ないこと、貸してほしい時のルールを決めておく。 例:「はさみとペンは全員分ありません。貸してほしい時は借りてもいいですか?と聞きましょう。黙って取るのはダメです。」 ③手が止まっている生徒には声かけを行う。 * 時間内に全て作成できなくてもいいことを伝えておく。 * 講師も入って作成しても可。	①先生の説明を聞く。 ②サイコロ、コマ作りを行う。
10分	宿題確認・チャレンジシート記入	プリント 「サイコロ、コマを作ろう」	①宿題を出すことを提示する。今回は授業で書ききれなかったところを書いてきてもらう。 ②宿題シートに宿題を書いてもらう。 ③宿題の内容を再度確認する。 ④チャレンジシートを行う。主担と副担に分かれてチェックする。 ⑤全員が帰りの用意を完全にしてから、終わりのあいさつをする。	①宿題の説明を聞く。 ②宿題シートに宿題を書く。 ③チャレンジシートの評価を受ける。 ④自分の荷物をまとめる。 ⑤終わりのあいさつをする。

宿題 ●プリント「サイコロ、コマを作ろう」

※指導の際に学びの8カ条を常に心がけてください。

学びの教室 授業指導案

5 月 3 週目

対象年齢： 小3～中学生

作成者： 中山 実緒

テーマ	自分を知る。他者を知る。
-----	--------------

めあて	●ソーシャルスキルの要素を取り入れたすごろく遊びをとおして、自己を表現すること、他者視点に気づくことなどをねらいに、さまざまなスキルを模擬的に経験させたり、知識を学ばせる。
-----	--

時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
5分	はじまりのあいさつ		①「始まりの挨拶」は、これからソーシャルスキルの勉強が始まることを意識させる。 ②新しい友だちが入った場合は、自己紹介し合う。 。）	①始まりの挨拶をする。 ②新しい友だちの自己紹介を聞く。
10分	宿題のフィードバック	プリント 「サイコロ、コマを作ろう」	①宿題の確認をする。 (机に出していない生徒には出すように促す。) ②前回休んだ生徒がいれば、できるだけ授業前に渡しておく。副担は配慮して横につく。	①始まりの挨拶をする。 ②宿題を出す。
35分	すごろく	プリント「何でもクエスチョン」 「指令カード」「ラッキーカード」 「すごろくシート」(第1週目で使用したものと同一のもの) 「すごろくの説明」(掲示用A3で印刷) 自作のサイコロ、コマ はさみ	①第1週目、第2週目で使用した「何でもクエスチョン」「指令カード」「ラッキーカード」を切り取り、回収し、それぞれ積んでおく。 ②ルールの説明。「すごろくの説明」を貼る。 ③すごろくのルールがわかっていない生徒がいなか確認する。 ④サイコロは各自が作ったものを使用して可。コマは事前にどれを使用するのか決めておく。 ⑤すごろく開始。 ※自己を表現することや自分の意見を伝えることが苦手な子どもに対しては「パスは1回までOK」など配慮をする。 ※順番を守らなかつたり、コマやサイコロを勝手に触らないようにルール付けしておく。	①第1週目、第2週目で使用した「何でもクエスチョン」「指令カード」「ラッキーカード」を切り取り、先生に渡す。 ②すごろくのルールを聞く。 ③すごろくゲームに参加する。
10分	宿題確認・チャレンジシート記入	プリント 「すごろくの感想を書こう」	①宿題を出すことを提示する。 ②宿題を配る前にみんなに見せ、宿題の名前を前に書く。その後、宿題シートに書いてもらい、みんなが書き終わったら配布する。 ③宿題の内容を確認する。時間があれば宿題をしても可。 ④チャレンジシートを行う。主担と副担に分かれてチェックする。 ⑤全員が帰りの用意を完全にしてから、終わりのあいさつをする。	①宿題の説明を聞く。 ②宿題シートに宿題を書く。 ③チャレンジシートの評価を受ける。 ④自分の荷物をまとめる。 ⑤終わりのあいさつをする。

来月の家庭学習のポイント	5月はすごろくを通して「順番を守る」「仲間に関わる」「自己表現」「協力する」ことを学びました。来月はそれを踏まえて自己理解、他者理解の学習をします。
--------------	--

宿題	●プリント「すごろくの感想を書こう」
----	--------------------

※指導の際に学びの8カ条を常に心がけてください。

しれい
★指令カード★

なまえ
名前： _____

●^{れい}例にならって「指令」を^{かんが}考えましょう。

みんなに^{おし}教えてほしいこと、^き聞きたいことにしてね。

ちゅうい 注意！ → ほか ^{ひと} 他の人が嫌がること、じぶん ^{いや} 自分が嫌だ ^{おも} と思うことはダメです。

^{れい}例：おすすめのお菓子^{かし}を2つ^{はっぴょう}発表しなさい。

^{れい}例：人に^{ひと}してもらってうれしかったことを
1つ^{おし}教えなさい。

Blank box for writing an instruction.

Blank box for writing an instruction.

Blank box for writing an instruction.

Blank box for writing an instruction.

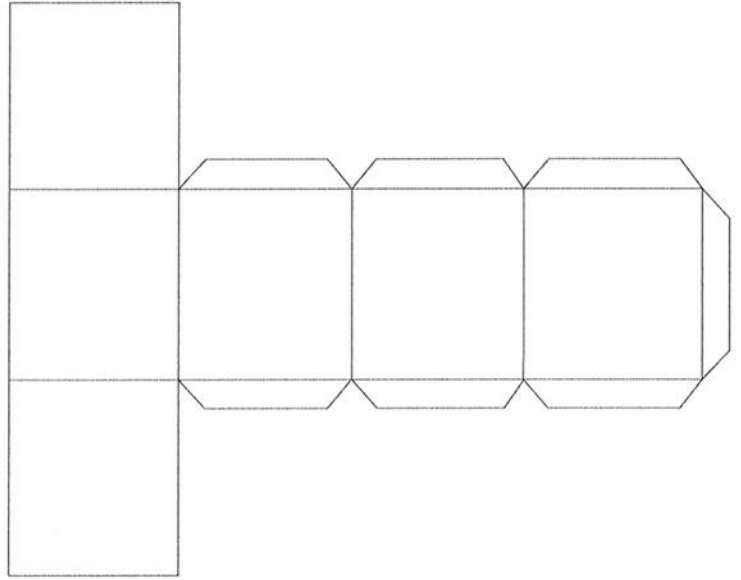
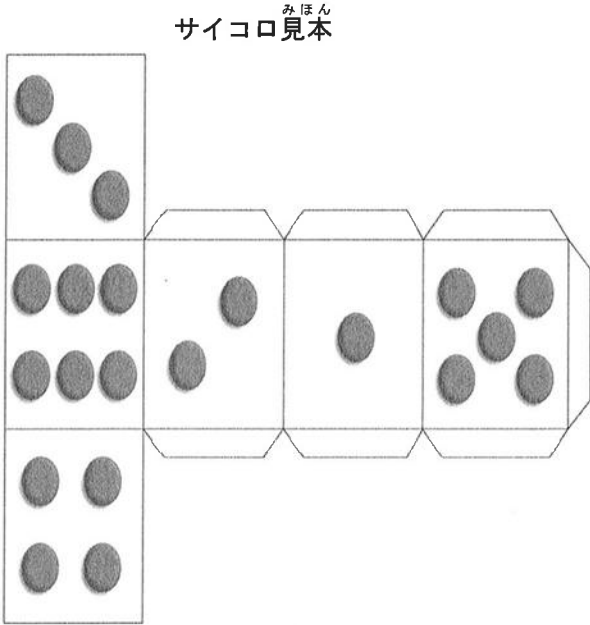
Blank box for writing an instruction.

Blank box for writing an instruction.

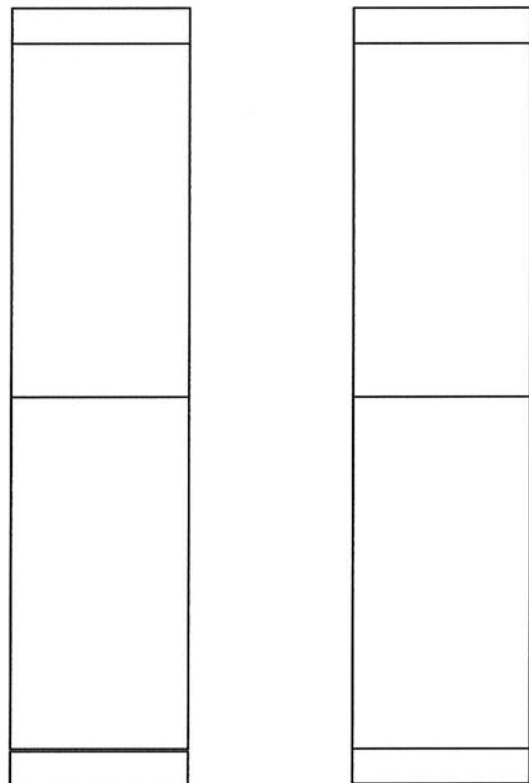
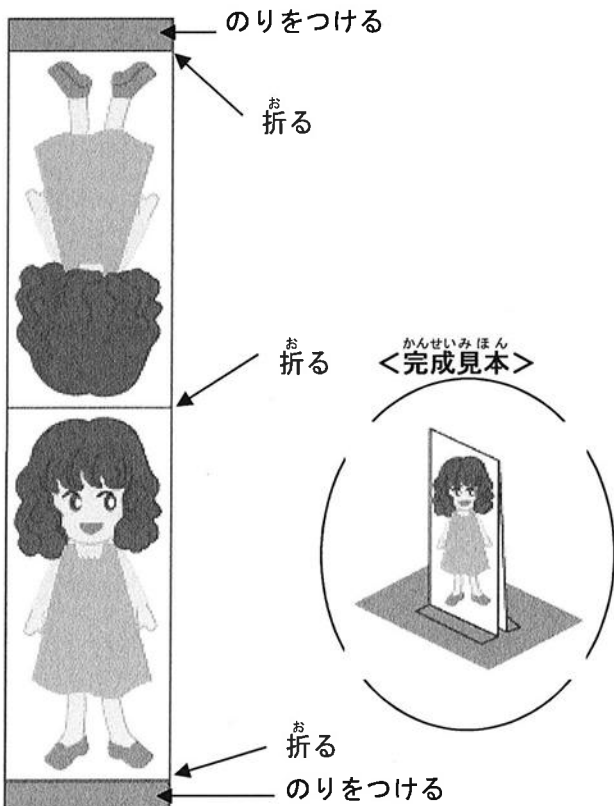
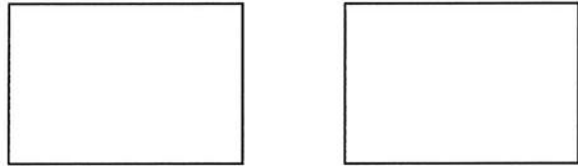
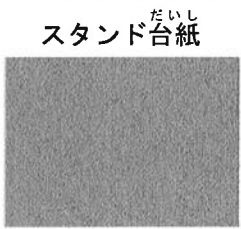
★サイコロ、コマを作ろう★

なまえ 名前： _____

●^{した}下のサイコロ見本を参考にオリジナルサイコロを作^{つく}りましょう！



●オリジナルのコマを作ろう！好きなイラスト、好きな色で作りましょう！



★ラッキーカード★

なまえ
名前： _____

●^{れい}例にならって「ラッキー」を^{かんが}考えましょう。

ちゅうい 注意！ → ^{ほか}他の人が^{ひと}嫌がること、^{じぶん}自分が^{いや}嫌だと思^{おも}うことはダメです。

^{れい}例：右^{みぎ}どなり^{ひと}の人にさいころを^ふ振ってもらい出^でた
数^{かず}だけ進^{すす}める。

^{れい}例：近^{ちか}くの大人^{おとな}によいところを^い言ってもらう。

Blank box for writing.

Blank box for writing.

Blank box for writing.

Blank box for writing.

Blank box for writing.

Blank box for writing.

● せつめい ● すぐろくの説明 ●

- ① さいころを振る順番を決めましょう。
- ② 出た目の数分、コマを進めます。
- ③ 「指令」「なんでもQ」「ラッキー」のマスの止まったら、積まれていているカードから1枚引きます。引いたカードの内容に従います。

やくそく

※引いたカードで答えたくない時は1回のみ、パスをしても

OK。

じゆんばん かなら まも

※順番は必ず守りましょう。

※コマやサイコロを勝手に触らないようにしましょう。

★すごろくの感想を書こう★

名前[]

5月は1か月間かけて、みんなですごろくを作りました。

すごろくをした感想、友達について分かったことをまとめよう。

① すごろくは楽しかったですか？

(とても楽しかった 楽しかった 普通)

② すごろくを作る中で、楽しかったことは何ですか。

れい) オリジナルのコマを作るのが楽しかった。

③ すごろくを作る中で、難しかったことは何ですか。

れい) 「指令カード」を作るのが難しかった。

④ 友達について分かったことを書いてみよう

れい) Aくんのおすすめのお菓子はチョコレートとポテトチップス。